

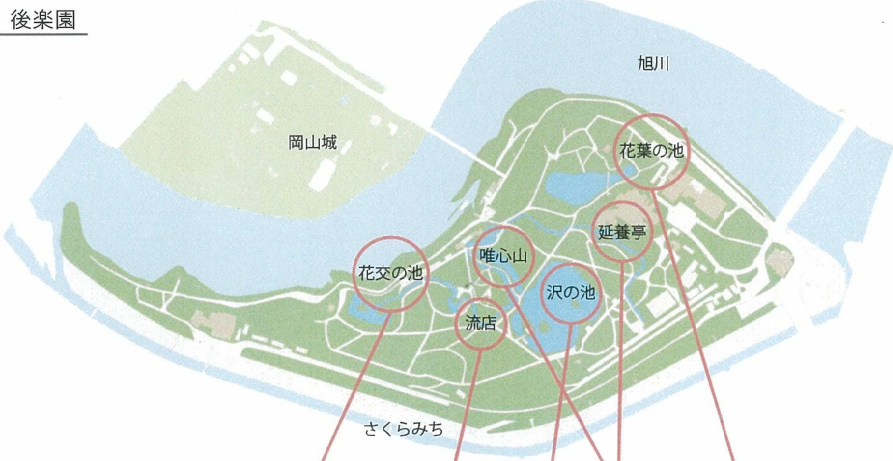
特定テーマ1に対する企画提案

● 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

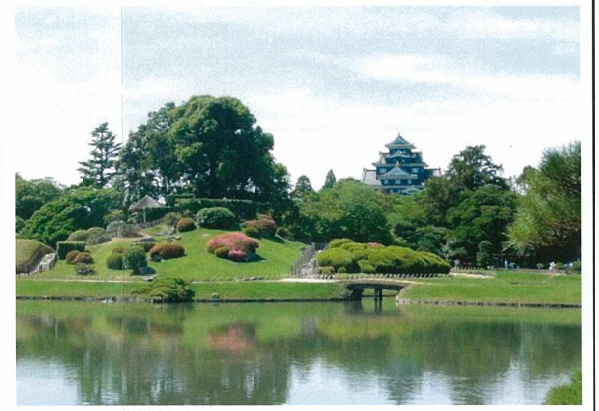
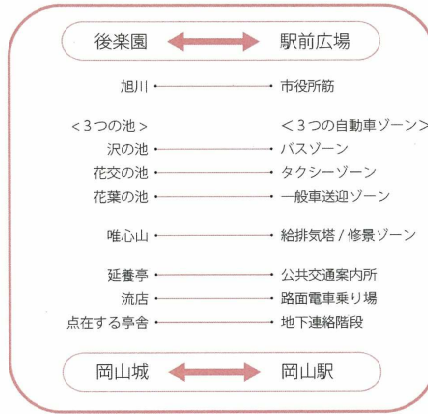
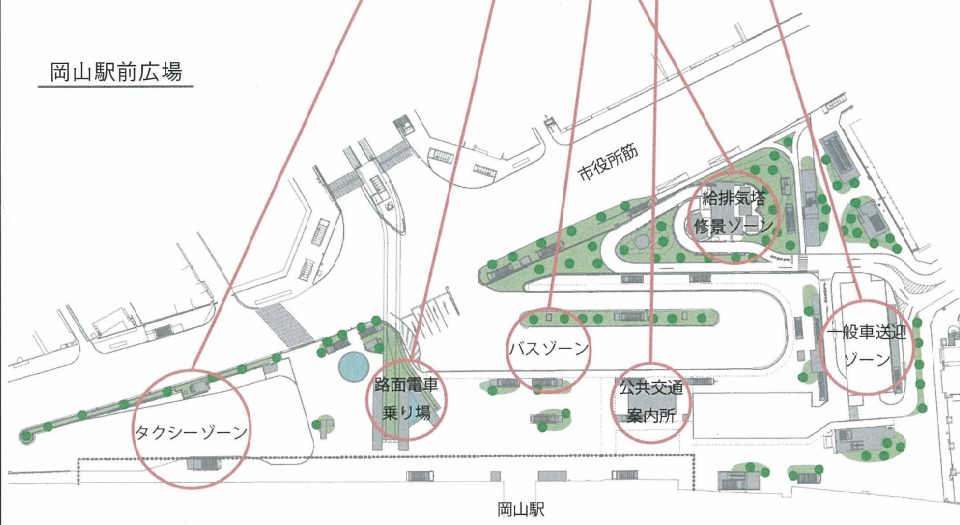
2) 後楽園に「見立て」た、緑あふれる《都市の庭園広場》としての岡山駅前広場デザイン

- 岡山駅前広場を後楽園に「見立て」、立体的な変化に富み、回遊を楽しめる、《都市の庭園広場》としての駅前広場デザインを提案します。
- 岡山駅前広場と後楽園は、ちょうど同じような三角形であり、それぞれに符合する対応関係を見出すことができます。この点に着目し、岡山駅前要素を後楽園に「見立て」た駅前広場デザインを提案します。
- JR岡山駅も岡山城に「見立て」、駅前広場と一体となったリデザインを検討します。

後楽園

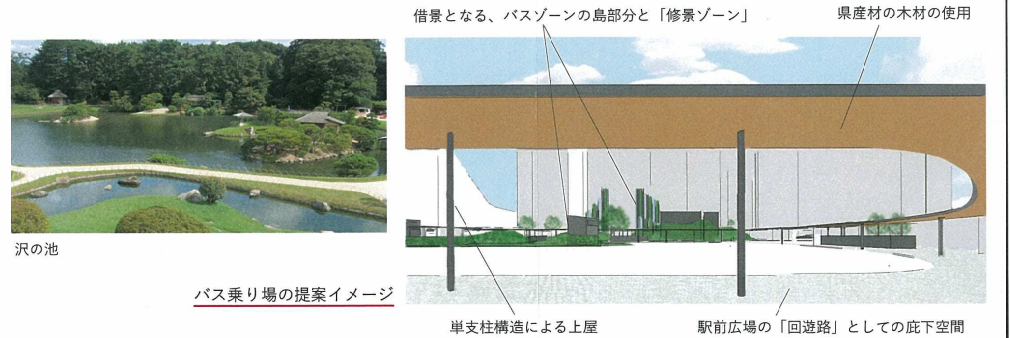


岡山駅前広場



● 3つの池(沢の池/花交の池/花葉の池)に「見立て」た、3つの自動車ゾーン

- 駅前広場の3つの自動車ゾーンは、後楽園の3つの池にちょうど「見立て」ることができます。一番大きな「沢の池」はバスゾーン、「花交の池」はタクシーゾーン、「花葉の池」は一般車送迎ゾーンに見立てられます。
- バスゾーンにある島状の場所は、沢の池の「中の島・御野島・砂利島」に見立てて修景します。
- バス乗り場やタクシー乗り場などに架かる底下の空間は、後楽園の園路のような、駅前広場の色々な景色を楽しむ回遊路です。
- バス乗り場などの天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。自然のあたたかみを感じられる駅前広場となります。
- バス乗り場などの上屋は、単支柱によるすっきりとした構造とし、これからの岡山にふさわしい洗練されたデザインとします。



概算工事費：20~30億円程度

特定テーマ1に対する企画提案

● 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

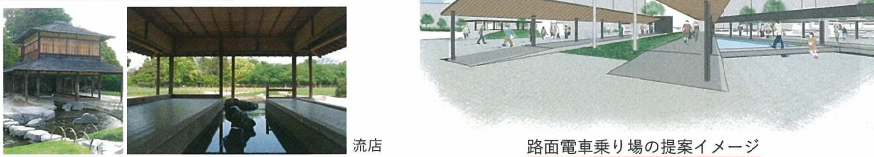
● 延養亭に「見立て」た、交通案内所 兼 待合所

- 交通案内所 兼 待合所は、延養亭に「見立て」たデザインを提案します。
- 延養亭が想起され、広場の人々の目に止まりやすいような、入母屋屋根を切妻と寄棟に分割した屋根デザインとして、人々が気軽に立ち寄りやすい4面ガラスのデザインとします。
- 天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。



● 流店に「見立て」た、路面電車乗り場

- 路面電車乗り場は、流店に「見立て」たデザインを提案します。
- プラットフォームにはさまれた軌道部分は、流店の引き込まれた水路の「見立て」としての軌道緑化をすることで、岡山市街への起点を印象付けます。プラットフォーム間の三角形部分には水盤を提案します。
- 路面電車の屋根は、片支柱で支えられた片流れ屋根の組合せとし、流店を想起させるデザインを提案します。
- 天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。



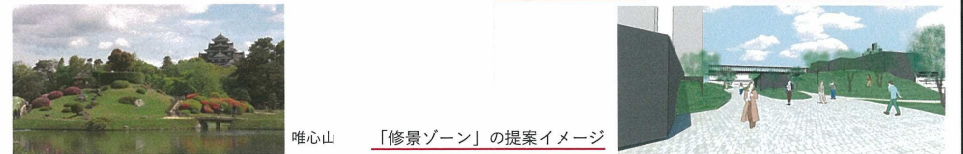
● 後楽園内に点在する亭舎に「見立て」た、地下街との連絡階段

- 駅前広場に点在する地下街への連絡階段は、廉池軒や茶組堂など後楽園内に点在する亭舎に「見立て」ます。
- 連絡階段の屋根の庇をのびし、県産材の石等のベンチを置き、植栽と一体的にデザインすることで、駅前広場に点在する障害物だった連絡階段は、駅前広場に点在する緑と憩いの休憩スペースとなり、人々の「居場所」を生み出します。
- 天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。



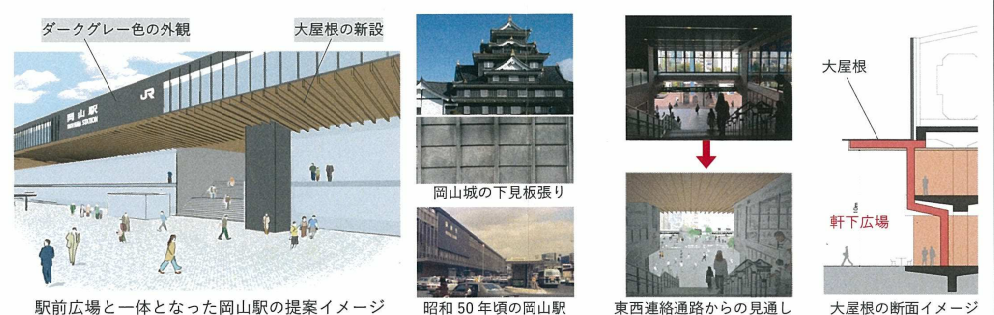
● 唯心山に「見立て」た、給排気塔のある「修景ゾーン」

- 特徴的な給排気塔がそびえ立つ修景ゾーンは、唯心山に「見立て」て、築山を整備します。立体的な緑のランドスケープによって既存の空調設備等を隠しながら、駅前広場の新たなビューポイントとなります。
- 給排気塔は、その特徴的な形状を活かして、駅前広場の新たなランドマークとなるようなデザインを提案します。例えば、六角形の各面に「ミラー」「緑」「ダークグレー」といった素材や色を施すことで、周囲の景色が映り込んで、景観に溶け込み一体化するようなデザインを検討します。
- 夜にはライトアップし、塔の内側からも空へ光をうち、印象的な岡山の夜景を演出することも検討します。
- 「修景ゾーン」は、後楽園内で様々な季節の移ろいを楽しめるように、色とりどりの植栽で立体的に緑化し、四季折々の散策を楽しめるデザインを提案します。



● 岡山城に「見立て」た、駅前広場と一体となった岡山駅のリデザイン

- 岡山駅の外観は「鳥城」と呼ばれる岡山城に「見立て」て、現状の駅舎の色を風格のあるダークグレー色とすることで、漆黒の下見板張りを想起させる「岡山らしい」洗練されたデザインに生まれ変わらせることを提案します。
- ダークグレーの外観は、かつての岡山駅の外観の記憶を呼び起こすデザインにもなります。
- 大屋根の新設
 - 駅舎に大屋根の新設を提案します。大屋根の下に生まれる軒下広場は、半屋外の縁側のような空間となり、タクシーゾーンから一般車送迎ゾーンまでをつなぐ、にぎわいの交流空間となります。
 - 大屋根は、既存の庇を撤去し、東西連絡通路の天井高さに合わせて設置することで、東西連絡通路から岡山市街への風景の見通しが良くなり、軒下広場は駅前広場にふさわしい都市的スケールのパブリック空間となります。
 - 大屋根の軒天井仕上げには、県産材の木材の使用を提案します。



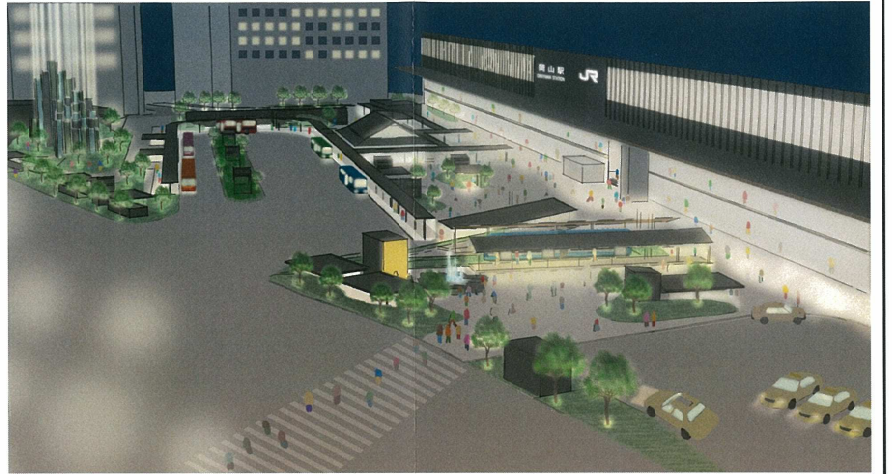
特定テーマ1に対する企画提案

● 市民や来訪者が「岡山らしさ」を感じられる駅前広場の空間・建築デザイン

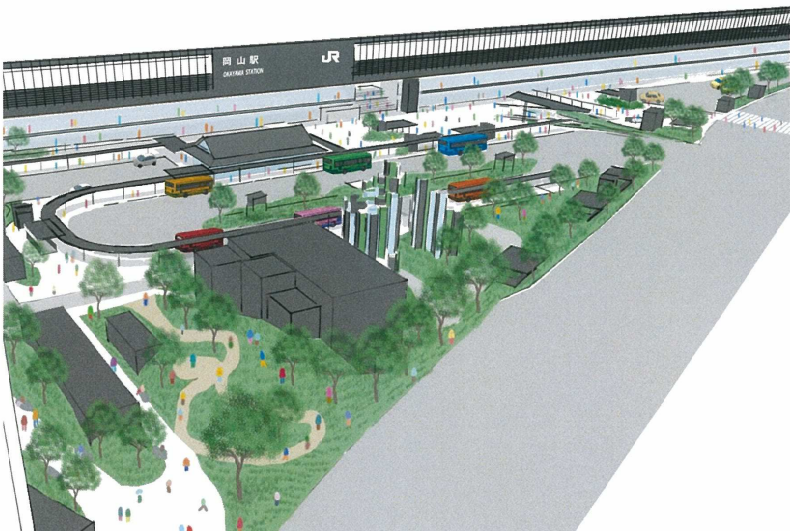
● 岡山駅前広場 提案イメージパース



JR 岡山駅の大屋根側から見た、岡山市街へのビューへと開かれ、緑の憩いスペースが点在する、にぎわい拠点としての広がりある「シンボル広場」。
岡山駅前広場に点在する「緑と憩いの休憩スペース」は、瀬戸内海に浮かぶ「多島美」(アーキペラゴ)も想起できるようなデザイン提案です。



北側から見た、やわらかな光でライトアップされた駅前広場の夜景。
照明デザインは、市民や来訪者に安全で印象的なあたたかみのある、夜の《にぎわい拠点》に配慮した計画を提案します。



東側から見た、緑あふれる「修景ゾーン」と駅前広場の全景。
「修景ゾーン」は、岡山市街からも緑のランドマークとなり、緑あふれる岡山駅前広場というイメージを与えます。



北側から見た、「シンボル広場」や「交通拠点広場」のにぎわいに溢れる、緑豊かな駅前広場の全景。
岡山駅前広場とJR 岡山駅が統一感のあるデザインでまとめられ、一体となった都市のにぎわいを生み出します。